

平成29年度第2回沼田市総合教育会議会議録

1 開催日

平成30年2月22日（木）

2 場所

中央公民館学習相談室

3 出席者

沼田市長 横山 公一

沼田市教育委員会

教育長 大竹 孝夫

委員 保坂 充勇

委員 星野 貴昭

委員 飯田富美子

委員 平形 昇

事務局

高山正教育部長、藤井隆庶務課長、竹之内篤学校教育課長、平井通晃社会教育課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀庶務課長補佐

4 開会 午前9時26分

5 市長あいさつ

6 会議録署名人の指名

市長が星野委員を指名

7 議事

議長：横田市長

議題

(1) 平成30年度実施予定事業について

○教育部長、各課長より説明

平形委員)

- ・歴史資料館設置事業、旧土岐邸洋館保存整備事業について、施設を設置するものであると思うが、維持に係る費用も検討しながら、生方記念文庫など他の施設も含めて関連性や一体感を持たせて誘客に結び付けられればと思う。

市長)

- ・現在、上之町に旧沼田貯蓄銀行、生方記念文庫があるが、その隣に旧土岐邸洋館、その南側に旧沼田教会記念会堂を移設したいと考えている。なぜかという、沼田公園長期整備構想によるもののほかに、各施設が大正時代のものであることから、集積を図り大正ロマンの雰囲気を醸し出したいと考えている。歴史資料館、沼田公園、正覚寺の小松姫等と合わせ誘客に

結びつけたい。

保坂委員)

- ・教育用コンピュータ管理事業について、これは将来のプログラミングの授業を見据えたものなのか。また、主にどんな機材を整備するのか。

庶務課長)

- ・情報教育の観点で従前から進められている事業であるが、プログラミング教育にも使用可能である。主な機材については、ノートパソコンであるが、最近ではタブレット型も導入している。

飯田委員)

- ・学校教育支援事業については、各学校から依頼があった際に随時派遣するものなのか。

学校教育課長)

- ・各学校の状況について学校教育課で聞き取りを行い、それぞれの状況に応じて支援員を学校に年度単位で配置している。

飯田委員)

- ・予算にも限りはあるだろうから、ボランティアを活用してはどうか。

学校教育課長)

- ・ボランティアの活用については、学校支援センターを各学校に設置している。個別の指導が必要な場合に、ボランティアに入っただくことは難しい状況はあるが、今後、研究したい。

飯田委員)

- ・学校体育活動振興事業はどんなものなのか。

学校教育課長)

- ・現在、外部指導者活用事業としてエキスパート事業を実施している。これは、部活動顧問の競技未経験者に対応するもので、地域の皆さまに協力いただいている。本事業は、学校教育法の改正に伴い部活動指導員を市の臨時職員として任用するもので、大会への引率や指導員単独での技術指導が可能となる。新年度は試験的に2名を配置する予定である。

保坂委員)

- ・生涯学習推進事業70,390千円について、主な支出先はどこか。

社会教育課長)

- ・主な支出は、利根沼田文化会館の負担金69,027千円で、利根沼田広域市町村圏振興整備組合に支出するものである。

保坂委員)

- ・図書資料購入事業について、図書資料の選定はどのように行っているのか。

社会教育課長)

- ・市民からのリクエストを含め、図書館職員が選定を行っている。

保坂委員)

・沼田城遺跡発掘調査事業では、調査エリアをどの辺りまで考えているのか。

教育部長（文化財保護課長欠席のため）

・基本的には、現在の沼田公園内を考えている。

星野委員)

・沼田城遺跡発掘調査事業の着地点・目標は、どのように考えているのか。

教育部長（文化財保護課長欠席のため）

・沼田市史跡沼田城跡調査保存整備委員会専門部会によると、沼田城の全容をつかむのに2年はかかるであろうとのことだった。既存施設の移設にも相当の期間を要すると思われるが、事業の着地点・目標は、県史跡や国史跡の指定を目指すものである。

異議なく承認

8 閉会 午前10時26分